

人工的なバードソング

片野修

2023年の6月に北海道中部を旅行したときのことである。阿寒湖に立ち寄ると、ヒグマが出没しているということで、鳥見の散策路が閉鎖されていた。そこでしばらく走ったのちに、ある町に立ち寄ると公園があった。遠くから野鳥の観察小屋が見えたので、ここなら熊も出ないだろうと、公園を散策することにした。公園の手前にはアメマスが釣れるという川が流れており、その橋にさしかかると、さっそく野鳥の声が聴こえてきた。それもずいぶん多くの鳥が鳴いているように思われた。

どこに鳥はいるのかと探してみたが、見つからなかった。橋の周りだから、鳥がいるならすぐに見つかるはずである。少しして、私は鳥の声がフェイクであることに気が付いた。拡声器から流されていたのである。北海道は鳥の楽園である。何もフェイク音声を流さなくてもよいだろうと思いながら公園に入ると、確かに野鳥観察小屋があった。しかし、その前の池にも、その先の林にも鳥はいなかった。

鳥がいなかったのは、たまたまだったのかもしれない。冬になれば、カモがたくさんやってくるはずである。林の鳥だって、時期が異なれば見ることができのさだろう。その一方で、バードウォッチングのための公園として整備したものの、さっぱり鳥が来ないのでフェイクソングを流しているのではないか、という疑念は消せなかった。前日まで、網走や紋別周辺でベニマシコ、オオジュリン、ノゴマなどを堪能していたので、なおさらこの公園には失望した。

その一年後、私は花巻と平泉を旅行した。中尊寺や宮沢賢治記念館などを楽しんだのち、帰路について新花巻駅でやまびこ号を待っていると、頭上で鳥の声を聴いた。たぶんオオルリの鳴き声だと思ったが、駅のホームにオオルリがいるはずはない。この鳴き声もフェイクだと思ったが、その理由はわからなかった。しかも、仙台駅で乗り換えのためにホームに降りると、今度は別の鳴き声が聴こえてきた。したがって、このフェイクソングは偶然のものではなく、明確な意図をもっていると思われた。

しらべてみると、フェイクソングは視覚障害者を正しい場所に誘導するための音であることがわかった。駅によって音は異なるらしい。意味のある音であることはわかったが、やまびこが来るまで10分くらい、その音を聴かされつづけた私は、不快感を禁じえなかった。その理由は同じ音をかなりのボリュームで聴かされたことと、鳴き声の音色にあると思われた。その鳴き声は、縄張りの所有者がライバルを追い払うものであり、わたしには「近づくな」とか「出ていけ」と言っているように感じられた。その攻撃性が私を苛立たせたのであり、同じことは視覚障害者にも言えるかもしれない。どうせなら、鳥の鳴き声でやさしいメロディーを流してくれたら、気分もよくなっただろう。縄張り防衛ではなく、ささやくような恋の歌でもよかったかもしれない。

人工的な音声は増えてきた。最近では、NHK ニュースの終盤に AI アナウンサーによる

原稿読みが入ることが多い。AI と言っても、原稿の内容は人間がつくったものであり、音を人工にしているだけである。おそらく、一字一句もまちがわない AI アナウンサーによる放送は、管理者にとっては安心できるのかもしれない。しかし、私には違和感だけが耳に残ってしまう。

民放ならともかく、NHK のニュースを読むアナウンサーはほとんどまちがえない。稀にまちがえることがあっても、すぐに修正されるので気にならない。さらに言えば、AI アナウンサーによる放送は録音したものであり、それならば人間のアナウンサーが読んだものを使っても、(まちがえたらやり直せばよいので) 同じである。

実際のアナウンサーの声には、優しさ、真面目さ、知的な感じ、毅然とした態度などにおいて個性がある。しかも、それらをニュースの内容や言葉に応じて微妙に変えており、さらに顔の表情や手振りで補うこともできる。その点で AI アナウンサーは物足りないだけでなく、魅力もない。NHK のニュース読みの達人たちは、AI アナウンサーの音を聴いて、安心しているであろう。おそらく管理者は、将来、人員削減をしてアナウンサーを減らそうとしているのかもしれない。しかし、AI アナウンサーの音を聴くくらいなら、ラジオでもよいし、インターネットで好きな記事を読むほうが (記事を選べるので) 無駄がない。

鳥のフェイクソングや AI アナウンサーが普及しつつあり、ウクライナではドローンがヒトを殺しているのを見ると、次には日本でも AI を搭載したロボット鳥や警官ドローンが町中を飛ぶことになるかもしれない。川では、偽のサケやアユが泳ぎ、それを釣る大会が開かれる。テレビでは AI ロボットがあふれ、お金のかかる人間は消えていくのだろう。現在すでに普及しつつある AI 音声による詐欺や不正は、ますます広がるはずである。その世界では、「実際の」生き物ばかりの動物園や人間だけによる放送が人気となり、「言い間違い」や「放送事故」が貴重になるのかもしれない。